

2024年3月期第1四半期 決算説明会 質疑応答集

この質疑応答集は、8月9日（水）に開催したアナリスト・機関投資家向け決算説明会にて、ご出席の皆様からいただいた主なご質問を、事業別にまとめたものです。理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

【展示会事業】

- Q. IT分野の展示会についてはまだ参入を開始したばかりだと思いが、現在の営業活動について教えてほしい。
- A. 現在開催している「DXPO」は、IT分野の中でもDXに特化した展示会であり、幅広い業界にニーズがある分野です。前事業年度に第1回目の「DXPO」を開催し、出展社及び来場者からご好評いただきました。当事業年度において、8月開催の東京展の出展社数は約530社と、順調に増加しております。また、東京都・大阪府だけでなく他地域でも開催してほしいという要望に応え、新たに福岡県（今年10月）での開催も決定しております。出展社数及び出展小間数も前事業年度に比べ大幅に増える見込みのため、期首に設定した介護分野・IT分野を合算した目標出展小間数3,678小間については、十分に達成可能と考えております。

【M&A仲介事業】

- Q. 新たに参入する分野として、何故建設分野を選んだのか教えてほしい。
- A. 建設分野は、既存分野と同様に中小零細の事業者数が多く、また高齢化による後継者不足や人材不足による事業承継へのニーズが高いため、参入を決定いたしました。なお、既存分野においても、売上高の拡大余地は100～120億円を見込んでいるため、既存分野だけでも十分拡大余地はある一方、中長期的な成長を鑑み新分野へ参入いたしました。
- Q. 現在の事業計画に新分野の案件成約組数は含まれているのか？
- A. はい、含んでおります。
- Q. M&Aにおいて、建設分野は介護分野と異なり競合が激しいイメージがあるが、足元の市場環境を教えてほしい。
- A. 足元の市場環境につきましては、建設分野のニーズはとて強いと感じております。なお、当社は中小零細の事業者に向けたM&Aを行っていることから、介護分野同様、比較的他社との競合は発生しにくい傾向にあります。
- Q. 成約組数に占める新分野の割合を教えてほしい。
- A. 割合につきましては開示をしていないものの、予定どおりのペースで進捗しております。

【人材採用支援事業】

- Q. 人材採用支援事業の費用の中にのれん償却費は含まれているのか？
- A. いいえ、含まれておりません。全社費用の中に含まれております。
- Q. 前事業年度と比較した際、利益率が改善しているが、買収後どういった施策を実施したのか教えてほしい。
- A. 前事業年度までは月次の統制状況に不十分な部分もあったため、買収後は月次目標やKPIを作成するなど、管理体制を構築いたしました。これが奏功したため、一人当たりの売上高が増加し、利益率が良化したいたしました。なお、最終的な利益率の着地としては、展示会事業と同程度を想定しています。

以上